令和７年度 第４回 グループホームひだまり
運　営　推　進　会　議　記　録

会議日時	令和７年10月15日（水曜日）18時00分～18時30分
会議場所	グループホームひだまりホール

利用者家族	（利用者及びその家族）
富岡町内会　会長　元稚内市地域包括支援センター長	（認知症対応型共同生活介護に知見を有する者）
はまなす町内会　会長	（地域住民の代表者）
稚内市生活福祉部長寿あんしん課包括支援グループ	（稚内市職員）
所長他３名	

１　開会

２　挨拶
所長より挨拶。

３　運営状況等に関する経過報告について
所長より利用実績、行事等の実施状況、事業の適正推進に向けた各種取り組みの状況について資料に沿って説明行う。8.9月は逝去された方が３名に加え入退院もあり延べ人数が８月は410人で、１日換算すると平均13.2人。９月は389人で、平均13.0人であったこと報告。
行事実績についてはドライブ、外食のほか、ご家族等をご案内した敬老会を開催。
事業の適正に向けた取り組みに関しては、稚内生活福祉部社会福祉課基幹相談支援主幹に依頼し「本市における虐待事例等を踏まえての虐待防止研修会」をテーマに虐待に関する研修を開催。虐待事例を用いた研修内容であったため職員が虐待や不適切ケアに当たるものをイメージしやすい内容であり、知識や意識が深まった。また、職員が北海道宗谷総合振興局保健環境部保健行政室主催の令和７年度感染予防研修会へ参加、感染症成立のメカニズム、吐物処理、スタンダードプリコーションについて学び、後日、事業所内研修として事業所職員へ伝達講習を行い、職員の感染に対する知識の再確認を行ったことを報告。

４　その他
知見担当委員より、現在利用者は何名か、また人員配置的には職員は足りているのかと質問あり、所長より利用者人数は14名、職員の人員配置基準は満たしているが時短パート、利用者の重度化もあり実情としては人手が足りない状況にあると返答。

地域住民代表委員より、休日出勤などもあり激務が続いていると思うが職員の健康状態はどうかと質問あり、所長より休日出勤もあり職員の疲労は蓄積している状態と捉える、限界といいながらも継続して勤務に当たってくれている。連続勤務にならないように配慮はするがシフト勤務であり難しい場面もあると返答。
市職員委員より、希望休もとってシフトを作成しているのか質問あり、所長より一応希望休については回数を決め対応している。希望休が重なってしまった場合には日程調整を行っていると返答。
知見担当委員より、厳しい状況ではあるが頑張ってほしい。報酬の単価が決まっているので経営も厳しいと思う。稚内市独自での報酬を検討してもらえたらと思う。